



劇的で感動な運動会

校長 齋藤 博敏

5月18日（土）、雲一つない青空の下、運動会を実施することができました。

当日は、早朝から、たくさんの御家族・地域の皆様から子どもたちの応援に駆けつけていただきました。本当にありがとうございました。全力で、本気になって挑む子どもたちの姿はいかがでしたでしょうか。

今年度は、私が教員となって 36 回目の運動会でした。今年度ほど、劇的で感動した運動会はこれまでありませんでした。

劇的だった逆転優勝

最終種目の高学年全員リレー前の得点は、赤組468点、白組487点で白組が19点リードしていました。赤組が逆転優勝するには、高学年リレーで赤組が1位、2位を取るしかありませんでした（リレーの得点は、1位40点2位35点3位30点4位25点、1・2位で20点の差が出ます）。その状況を知っていたのは、得点担当の岩崎教諭と石塚教諭だけでした。スタート時から二人は手に汗握っていたそうです。結果は赤組が1位（赤）2位（黄）を独占し、最終得点赤組543点、白組542点で、赤組が逆転優勝を飾りました。本当に劇的な結末でした。



全校児童が一致団結

昨年度、団長の呼びかけで赤白それぞれ円陣を組んだことに感動させられました。今年度は、全校団体種目を前に、全校児童が一つの輪になり、円陣を組みました。もちろん応援団担当職員の指示ではなく、団長の呼びかけです。シャッターチャンス逃すまいと、私もその場に行きました。私が近づくと、「校長先生も一緒にやろう」と声を掛けられました（喜んで輪に加わりました）。そこには、勝敗度外視で全校児童が運動会を楽しんでいる姿がありました。本当に胸が熱くなりました。



運動会前日準備終了後、6年生に話をする機会がありました。6年生には、大きく二つのことを話しました。

- ①「小学校生活最後の運動会、悔いのないよう、思いっきり楽しみなさい。」
- ②「6年生が本気になることで、下の学年も本気になります。本気になって佐々木小運動会にさらなる伝統を残してください。」

6年生が運動会を大いに楽しみ、本気になって戦ったからこそ、全校児童で、運動会のスローガン「全力勝負、赤白本気」を実現できたのだと思います。そして、劇的で感動的な運動会になったのだと思います。